

学童保育サービス標準化

保護者や指導員ら 場設け在り方協議へ

市議会市側答弁

6月定例岡山市議会は16日、本会議を再開。個人質問に入り、森山幸治（市民ネット）、東原透（自民党・無所属の会）、東毅（共産党）、磯谷和行（自民党・無所属の会）、佐藤人海（同）、二嶋宣人（同）の6氏が市政全般をたじた。市側は、共働き家庭などの小学生を預かる放課後児童クラブ（学童保育）について、クラブ間でばらつきのあるサービスや保護者負担金を統一するため、保護者や指導員の代表らが協議する場を設ける意向を明らかにした。



ペット火葬場開設

論戦

ペットの最期を人間同様に見送りたい。動物の飼育主のそんな思いを背景に、全国でペットの火葬場が。住民は環境悪化の恐れを覚悟した計画が議論になった。質問などによると、南と要望。国の法整備を待たない主のそんな思いを背景に、業者側のあいさつで発促した。東毅氏は、トラブルがどを視野に検討が進む見通した。

愛好家の思いと 両立へルール作りを 周辺の生活環境

霊園の開設が相次いでいる。ただ、法的規制やルールがないため、周辺に計画を断念したという。住民とトラブルが起きる。ケースもあり、16日の6月。市の説明ではペットの定例岡山市議会の個人質問では4月に市内で浮上の規制はなく、磯谷和行

荒木誠岡山つ子育成が市の取り組みを尋ねた。必要がある。市児童クラブ連合会、保護者、局長は「クラブ間で提議してもらおう」と述べた。荒木局長は「クラブ間で提議してもらおう」と述べた。荒木局長は「クラブ間で提議してもらおう」と述べた。

居所不明小中学生6人と国に報告。岡山市は16日、1年以上居場所が分からない「居所不明」の小中学生について、2013年度に市教委が文部科学省に6人と報告したことを明らかにした。5月に神奈川県のアパートで子どもの白骨遺体が見つかった事件をきっかけに、所在不明の子どもの全国的な問題となる中、定例市議会でも佐藤人海氏が市内の現状を質問。荒木誠岡山つ子育成局長は文科省への報告とともに、厚生労働省の依頼で別途調査を進めていることを説明した。

た。市によると、市内の放課後児童クラブは90クラブ計127施設があり、児童4763人（4月1日現在）が利用している。保護者負担金は2千〜1万1千円（13年度）と5倍以上の開きがある。協議の場は8月をめどに設け、14年度中に定める。現行の小学3年から6年に引き上げられ、

全学年が放課後児童クラブを利用できるようになる。市は市内の利用希望者が3割程度増える見込んでおり、施設や指導員の確保も課題となっている。（高下修）

起きた場合を念頭に「ルールなしでは、周辺住民にとってもペット愛好家にとっても不幸ではない」と指摘。市側にルール作りを求めた。（藤岡慎吾）

市教委によると、13年5月時点で居所不明だった6人のうち、5人は13年度中に入国管理局への照会などで外国への出国を確認。残る1人は1歳だった01年から行方不明となり警察が捜査している。（大島望）

平成二十六年六月定例岡山市議会での佐藤人海の個人質問の答弁が山陽新聞岡山市民版に掲載されました。